

Press Release

報道各位

2020年9月9日

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館
公益財団法人ミモカ 美術振興財団

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館 ギャラリートークLIVE配信(手話同時通訳) のお知らせ

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館（MIMOCA）では、企画展「猪熊弦一郎展 アートはバイタミン」の見どころを、会場デザインを担当したLandscape Products（ランドスケーププロダクツ）に語っていただくギャラリートークを実施いたしますのでお知らせします。

新型コロナウイルス感染症対策のため、美術館閉館後の無観客状態で、Youtubeを通してトークの様子を手話通訳付きでLIVE配信いたします。当館として、LIVE配信は初めての試みとなりますので、プレス関係の皆様には周知いただきたく、お願い申し上げます。



「猪熊弦一郎展 アートはバイタミン」展示風景
吉村順三設計「田園調布の家」1971年 1/1模型 ©ホンマタカン

[お問い合わせ先]

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

公益財団法人ミモカ美術振興財団

事業担当：古野華奈子 広報担当：奥本末世

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1

Tel. 0877-24-7755 Fax. 0877-24-7766

www.mimoca.org E-mail. press@mimoca.org



「猪熊弦一郎展 アートはバイタミン」関連プログラム 対談 岡本 仁×中原慎一郎 「いのくまさんの家で考えたこと」

旧猪熊邸や香川県庁舎東館陶画《和敬清寂》の再現をはじめ、本展の会場デザインを担当したLandscape Productsの二人が展覧会の見どころをお話します。

開催日時：2020年9月19日（土）19:00-20:00予定

参加費：無料

視聴方法：MIMOCA Youtube公式アカウント

<https://www.youtube.com/user/mimocainfo> から閲覧可能
手話同時通訳

■プロフィール



岡本 仁 Hitoshi Okamoto

1954年 北海道生まれ。マガジンハウスにて『BRUTUS』『relax』『ku:nel』などの雑誌編集に携わったのち、2009年にランドスケーププロダクツに入社。同社にて新しいプロジェクトの起案、コンセプトづくり、ブランディングなど「かたちのないもの」を担当する。並行して執筆や編集の活動も。昨年は四国村ギャラリーにて開催された「猪熊弦一郎展“わたしの好きなものパート1&2”」の企画監修を担当。著書に『ぼくの鹿児島案内』『ぼくの香川案内』『ぼくらの岡山案内』（いずれもランドスケーププロダクツ）、『ぼくの東京地図』『また旅』（ともに京阪神エルマガジン社）、『果てしのない本の話』（本の雑誌社）など。近著は『続々 果てしのない本の話』（アカツキ・プレス）『今日の買い物・新装版』（講談社）。現在、雑誌『暮らしの手帖』と『& Premium』でエッセイを連載中。



中原慎一郎 Shinichiro Nakahara

ランドスケーププロダクツ ファウンダー / プロデューサー1971年、鹿児島県生まれ。オリジナル家具等を扱う

「Playmountain」、カフェ「Tas Yard」、コーヒースタンド「BE A GOOD NEIGHBOR COFFEE KIOSK」、ギャラリースペース「CURATOR'S CUBE」、ヴェトナム麺食堂「Pho 321 Noodle bar」を展開。また住宅/店舗のデザイン業務、イベントプロデュースやブランドディレクションを手がける。

<http://www.landscape-products.net/>

MIMOCAでは、引き続き新型コロナウイルス感染症対策を実施してまいります。今後の国内、近隣の感染状況によっては中止をする可能性があります。予めご了承ください。